

シルバー

しずおか

第65号

平成30年4月

センターの会員数

(平成30年3月末日現在)

項目	総数	男	女
会員総数	2,794	1,745	1,049
東事務所	963	620	343
西事務所	1,831	1,125	706

自主・自立・共働・共助



『春盛り』（富士宮市大石寺にて） 撮影：会員 川村春美（関連記事8頁）

目次

表紙（春盛り・目次）	1	会員の広場	8
班長視察研修（東京都東久留米市SC）	2	（しみず美化ウォーキング・坂井将邦）	
委員会の活動状況	3～6	互助会だより（信州旅行、同好会紹介）	9
委員会の活動状況・社会奉仕活動	3～6	職場訪問（清水区・長倉産業）	10
役員視察研修（埼玉県新座市SC）	7	史跡めぐり（徳川家康公の生涯と駿府城跡◎）	11
		事務局だより（人事異動、就業中の事故発生など）	12

発行 公益社団法人 静岡市シルバー人材センター

本部事務局・東事務所

〒424-0834

静岡市清水区浜田町4番4号

TEL 054(351)1150

FAX 054(351)1349

西事務所

〒420-0065

静岡市葵区新通二丁目4番5号

TEL 054(252)4150

FAX 054(252)4160

東事務所蒲原支所

〒421-3211

静岡市清水区蒲原新田二丁目16番8号

TEL 054(385)3545

FAX 054(340)3757

班長会視察研修

東京都東久留米市SC

平成29年11月16・17日にかけて、東久留米市にある公益社団法人東久留米市シルバー人材センターを訪問。班長会視察研修を実施しました。

研修内容は、(1)会員数拡大への取組み、(2)地区班活動の現状と取組み、(3)奉仕活動への取組み、(4)独自事業についての4点であり、出席者は東西班長計20名(班長17名、事務局3名)でした。

東久留米市は静岡市の100分の1程度の面積ですが、会員数は1,323人(29年3月31日現在)です。人口の約33%は60歳以上であり、静岡市とほぼ同程度です。

東久留米市SCは、全会員へ月2回、回覧板を回しています。内容は、センターの事業、研修、請負、派遣などの情報を記載したもので、請負、派遣については就業時間、配分金などを記載し、人員募集を図っています。回覧することで全会員平等に



情報共有し、単発・長期間問わず、一度で多数の募集ができる点が有効であると言います。

また、作業単価を安くし過ぎるのは、民業圧迫になるという考えや、会員の労力を安売りしないという考えから、家事援助は2時間2,700円、大工などの技能職は日当15,000円とし、民間企業の単価を参考に設定しています。しかし、除草作業については日当6,000〜7,000円程度で単価が

安いこともあり、後継者がいないことが課題となっているようです。今後、1時間1,500円くらいに設定したいとのことでした。

(1) 会員数拡大への取組み

2か月ほど前からインターネットによるWeb求人、Web受注の採用を始めました。また、地区班班長に協力を得て、班長宅に入会説明会や会員募集のポスターを掲示しています。入会説明会は、月に1回実施。これは当センターと同様です。参加者が少ないことや入会者が少ないなど、会員数拡大に苦慮されているようでした。

(2) 地区班活動の現状と取組み

現在26地区53名の地区班長体制をとっており、地区班活動費は会員1名に対し、年間500円をセンターから支給しています。これらは主にボランティア活動費や、各地区での集会、懇談会の費用として使用されています。

班長はそれぞれの地区から互選によって決められているため、事務局は、係わらないようにしています。

(3) 奉仕活動への取組み

とても活発に行われているようです。「公益認定を取得して以来、ただ仕事をやるだけの団体ではなくなったことを意識し、地域とのつながり、会員同士のつながりをより意識するようになった。ボランティア活動はシルバー人材センターのPR活動にもなる」として、ボランティア委員が中心となり、多くの会員が積極的に参加している」とのことでした。

(4) 独自事業について

補習教室、書道教室、シニアのための体操教室などを展開していました。大人向け教室は月謝2000円、子供向け教室は月謝3000円で、講師は



センター内の回覧掲示板

元教師の会員が行っています。教室に参加している会員同士の交流になるだけでなく、会員でない人も受講できるのでシルバールのPRにもつながっているようでした。研修は質問や意見交換が活発

に行われ、有意義な視察となりました。東久留米市SCも会員数拡大や事業運営について、当センターと同様の問題や課題を抱えていることもわかりました。今回の研修を今後の運営に活かしていきたいと思えます。

委員会の活動状況

就業委員会

委員長 竹内允敏

適正就業ガイドラインの現状

国策により、シルバー人材センターで働く会員の適正な就業を確保するため、平成28年9月に公示され、一年半が経過した適正就業ガイドラインは、各センターで新しい局面の対応にあたり、的確な事業推進が重要課題となりました。

当センターでも平成28年11月より研修会を行い、今年2月も会員対象の研修会が開催されました。①役職員の周知研修会、②会員の周知研修会、③発注者

への理解と協力を得るため、企業や個人家庭などへの周知業務を総会后実施。現状の就業形態については、適正就業ガイドラインに沿った業務運営の推進が求められ、請負委任に適合できない就業は、労働者派遣事業や職業紹介等に見直され、次期運営予算案へと反映されます。④不適正な就業の是正措置として、発注者側の指揮命令を外せない就業は派遣事業へ移行されることとなります。

平成29年度交代者公募

今回は適正就業ガイドラインに基づき、就業形態の是正見直しを、発注者への説明と事務調整に追われたため、平成21年度から継承の適正化基準の交代者公募事業は、民間は見送り、公関連のみといたしました。

来期は適正化適用ルールを再構築して実態に沿った事業を推進してまいります。

平成29年度交代者公募状況

項目	東事務所	西事務所	合計
期間満了者	15人	34人	49人
公募者数	5人	14人	19人
事業所数	5か所	10か所	15か所
応募者数	24人	58人	82人
辞退者数	6人	6人	12人
面接参加数	18人	52人	70人

総務・広報専門委員会

委員長 棟高敏郎

第一次中期計画を基に、平成29年度も会員獲得と就業開拓への取り組みを進めてまいりました。今年度の活動内容は次のとおりです。

○『かもめくる』2、700枚を市内一部地域に郵送（入会説明会のご案内）

○シニアクラブへ入会募集チラシ配布
清水区7月、葵・駿河区8月

○静岡市広報誌『しずおか気分』10月号掲載

○連合自治会回覧（10月）

○出張入会説明会開催（10月）

○パネル展開催（10月）

清水庁舎1階にて、就業中やボランティア、班活動などの写真を中心に展示

○ボランティア・美化ウォーク
11月20日ダイヤモンドプリンセス号の寄港に併せ開催。この会報誌の8頁をご覧下さい。

このほか、手芸班参加のイベント時にパンフレットやティッシュを配布。イベント回数は全11回でした。

また、平成30年1月に行われた会議の中で、福祉補助用具の作成・販売について事務局より報告がありました。この福祉補助用具（自助具）は、何らかの理由で自立した生活を送ることが困難になった方が、自助具を使うことで自立した生活ができるようになることを目指した用具のことを言います。当センターの新たな独自事業として展開していきたいかどうか、意見交換が行われました。2月に東事務所1階ロビーで行われた手芸班の展

示会では、この自助具も展示され、多くの方にご覧いただきました。

全国的にも会員数は減少傾向にありますが、当委員会の行うPR活動と並行して、会員一人ひとりがシルバーの広報員となり、多くの方に入会していただきけるよう活動していただきたいと思えます。センターを取り巻く環境が変化していく中で、平成30年度も引き続き様々なPR活動を進めてまいります。

管理事業専門委員会

委員長 平野武志

平成29年度第2回委員会で、確認・決定された項目に基づいて、第1回現場訪問は、9月29日JR安倍川駅及びJR用宗駅駐輪駐車場の管理業務を訪問。安倍川駅は、朝夕の通学・通勤の時間には大変混雑し、駐輪スペースからはみ出す自転車も多いため、整理に苦労されている。就業は6名体制で、2日就業、2日休みのローテーション。次の用宗駅は通学・通勤時間を過

ぎていたため、面会・面談は出来なかった。

第2回現場訪問は12月20日JR静岡駅北パーキング駐車場管理業務を訪問。10名体制で、就業は3交代(朝と昼1名ずつ、夜は2名)で、2日就業、3日休み。利用料金は金庫へ収納し、静岡市まちづくり公社の職員が集金に来ます。続いて、静岡市職員会館管理業務を訪問。利用は予約制ですが、利用者は静岡市職員とOB職員。就業体制は常時4人(男性2名、女性2名)、就業は3交代で、1日おき。利用率は30%程度。部屋の清掃は使用前と使用後に必ず行う。なお、業務の中でパソコンを使用するため、扱えることが必要不可欠。

今回の訪問で、駐輪駐車場管理業務と放置自転車の指導業務は、寒い日も暑い日も外での就業のため、たいへん厳しい環境の中、皆さん真面目に就業されていることを実感した。

今後の委員会活動は、利用者への対応、安全対策、健康管理を主なテーマとして検討、協議していきたいと考えております。

技能・軽作業事業専門委員会

委員長 服部雅温

平成28年度以前から、草刈機の飛び石事故については様々な方面から検討が加えられ、カルマー式を採用し、大幅な減少傾向が見られてきました。

当初は作業員の安全意識の高揚もあり、一定の成果を上げてまいりました。導入時からの課題として挙げられているのは二枚刃のためのメンテナンスや作業時間の増加等、従前より作業時間がかかり、お客様からのご理解を得るなど営業努力も増加しています。

また、最近の傾向としてカルマー式の使用を義務付けられた作業でチップソーを使用し、自動車の窓ガラスを破損する事例が発生しております。

「これくらいは良いだろう」や作業時間が長過ぎるなど、安易な発想や安全意識の欠落があったかと思えます。

当然、事故に関しては本人へのペナルティはもちろんですが、シルバー事業にとっても大変な

信用失墜であることを肝に銘じてもらいたい。

ともすれば、掛け声だけになりがちな安全意識の高揚、今一度心のたすきの締め直しをお願いいたします。

当委員会としても安全就業委員会との連携で今後の安全意識の向上に向けて、各種講演や講習、KYT(危険予知訓練)等への取り組みを積極的に行っていきたいと考えています。

福祉・家事援助事業専門委員会

委員長 山田君代

最近、マスメディアなどから、人生100年時代という言葉が聞くようになりました。超高齢社会の中で70歳位まで就業するよう社員に働きかけている企業もあるようです。そういった流れがシルバー人材センターの入会者の更なる減少に影響していることが予想されます。

30年1月19日、第4回委員会を東事務所で開催しました。課題としていたパンフレットが出来上がり、配布できるようにな



家事・子育て支援パンフレット

りました。家事支援と子育て支援を一冊にまとめたので見やすくなり、開くとお受けできる仕事の分かり易いイラストが目飛び込んできます。

今回の委員会は課題を元に戻し、大きく減少した会員数を少しでも回復するよう、出来上がったパンフレットをどのように活用するべきか意見を出し合いました。活発な意見交換がなされ配布先として①高齢者の集まる場所、②イベント会場、③会員の近隣住民・友人、④街角で支援が必要と思われる方に手渡し、など他にも案が出ました。検討した結果、2、3月にボランティアや趣味等で委員自身が活動している場所で、会員にな

れそうな方にパンフレットと入会案内チラシを手渡し、簡単に口添えをする。併せて、毎月第2水曜日の入会説明会への参加を促す。無理なお願いはなく、まずはセンターの事業内容を理解していただくことが大切であるということを通認識として、これを29年度委員会最後の活動としました。

会員を増やすということはとても重要かつ難題です。30年度に入れば今以上に厳しい状況になるかと思えます。委員会はこの先も会員拡大に積極的に取り組んでいきます。

安全就業委員会

委員長 望月 充

安全とは何かと、辞書を開いてみれば、人が楽しみ、いかに行動するか。その結果として安全は、発生するとの事です。

「危険がなく安心の事」

安心という言葉を調べると「気にかかることがなく、心が落ちついている」と書いてあります。人は、経験という実際の事に当たらないと勉強しないも

のです。

軽度のヒヤリ・ハットを経験された方は、多々あると思われるますが、たまたま運が良く事故に遭われなかっただけです。病気やけがは、いつ自分の身に降りかかるかわかりません。

今年度も、多くのけがや、事故が発生しました。シルバー会員の中には、骨折する事故に遭われた方がおります。日常の生活も不自由されたと思われれます。

事故発生の原因を調査し、今後の対処方法を考える。当事者による安全対策を今後どのようにして取り組めば良いか聞き取り、会員に情報発信を行って参ります。仕事を始める前に、危険予知をし、少しでも作業の安全意識を高め、いざという時に備えましょう。また、草刈り作業で、飛び石事故が多く発生しています。草刈機による飛び石事故防止でカルマー式草刈機を導入し、事故の減少に努めてきました。作業員の自己判断によるチップソー使用事故が多発しています。事前の安全対策等に十分配慮し、会員一人一人が事故ゼロを目標に取り組みみましょう。

理事会や班長会等で事故報告が行われていますが、各地域班でどれほど会員に浸透されているか。会員への周知方法の改善対策が急がれます。

平成29年度の安全就業委員会における活動事業として、安全パトロールの実施。



安全パトロール（日本平動物園）

11月に東事務所管内（浄化センター及びポンプ場）、12月に西事務所管内（日本平動物園）の安全パトロールに行ってきました。安全パトロールチェック票に基づき、作業の確認、安全作業における事故防止の取り組み方を聞きました。

平成29年度は、事故報告によりますと2月末現在、34件と前年度（25件）を上回っております。今後の事故防止に、一層の努力とご協力をお願いします。

事故発生状況一覧表

(平成29年8月～平成30年2月末)

【①傷害事故 就業中】

件数	性別	年齢	発生日	発生場所 就業先	事故の状況	傷害の程度
1	女	73	8月6日(日)	駿河区向敷地	庭のテラスの下の除草作業中、蜂の巣がある事に気付かず、近くを作業した際に飛んできた蜂に刺された。	腕峰刺され
2	女	72	8月15日(火)	葵区伝馬町	建物2階の清掃作業を終え1階に階段で降りていた際に、残り3～4段のところで踏み外し転落した。	右脚挫傷
3	男	67	8月17日(木)	清水区蒲原中	庭の除草作業中、左腕に違和感を感じ袖をまくったところ、無数の斑点ができていた。	左腕ダニに噛まれ炎症
4	男	76	8月28日(火)	葵区羽鳥本町	除草作業の休憩中、水分を摂り日陰に移動しようとして腰を上げた際にフラフラとして倒れた。熱中症によるものと思われる。	顔等切り傷
5	女	69	10月13日(金)	清水区興津中町	脚立を使用し、商品の陳列中、脚立の高さ約50cmの位置からバランスを崩し転倒した。	左手首複雑骨折
6	男	72	12月6日(水)	葵区緑町	植木剪定作業中、脚立の高さ約2mの所から足を踏み外し落下した。落下した際、背中を打った。	右肋骨骨折
7	男	69	12月24日(日)	駿河区栗原	園地内の落ち葉をブロアーを使用し作業後、段差を踏み外し転倒した。	左足の甲剥離骨折
8	男	75	12月30日(水)	葵区伝馬町	カートを押し清掃作業中、ゴミを回収してカートを移動した際に壁に立てかけてあった鉄製のパネルが倒れてきて右足に当たった。	右足の甲打撲
9	男	70	1月11日(月)	葵区南沼上	壊れた小屋の修理中、組み立て中の単管が強風にあおられて倒れて頭部に当たった。	側頭部裂傷
10	男	77	1月16日(火)	駿河区向敷地	切り落とした枝の裁断中、右手に持っていたのこぎりが滑り、枝を支えていた左手の人差し指を誤って切った。	左人差し指創傷
11	女	73	1月29日(月)	清水区清地	脚立に乗り窓ふき作業後、脚立から降りようとしたところで足を踏み外し、高さ30～40センチの位置から転倒。その際、左足を打ち付けた。	左足かかと骨折
12	女	71	2月13日(火)	葵区池ヶ谷	スーパーマーケットで就業中、重ねた籠を持ち上げた際、背中に痛みを感じた。病院での診察の結果、重い物を急激に持ち上げたことによる胸椎の圧迫骨折である事がわかった。	第8胸椎圧迫骨折

【②傷害事故 就業途中・帰路】

件数	性別	年齢	発生日	発生場所	事故の状況	傷害の程度
1	女	73	2月28日(水)	清水区万世町交差点付近	就業先からの原付で帰宅中、車線変更をした際に、後方から来た車に接触し転倒した。	両手擦り傷

【③賠償事故】

件数	性別	年齢	発生日	発生場所 就業先	事故の状況	保険適用について
1	男	62	8月19日(土)	駿河区登呂	草刈機(チップソー装着)でバス停付近の草刈作業中、誤って石を飛ばしてしまい、終点で停車中であった路線バスの側面後方の窓ガラスを破損した。	シルバー保険で賠償
2	男	74	9月25日(月)	清水区清開	草刈機(チップソー)を使用し除草作業中、誤って石を飛散させ、付近に駐車してあった業者のトラックのリヤガラスを破損させた。	シルバー保険で賠償
3	男	72	10月30日(月)	清水区木の下町	植木剪定作業中、茂みに隠れていた外灯の電源コードを誤って切断した。	シルバー保険で賠償
4	女	70	11月2日(金)	清水区宮加三	タオルをすすぎ洗い中、誤ってタオルを落とした。排水管のつまり防止がされていない流してあった為、流れたタオルが排水管を詰まらせた。	シルバー保険で賠償
5	男	75	12月5日(水)	清水区永楽町	草刈作業中、草刈機で石を飛散させ、隣の敷地に駐車してあった業者の車のサイドガラスを破損させた。	シルバー保険で賠償

年度別事故発生件数

	傷害事故	賠償事故	交通事故	合計
平成24年度	10件	6件	0件	16件
平成25年度	21件	20件	0件	41件
平成26年度	19件	14件	0件	33件
平成27年度	19件	15件	0件	34件
平成28年度	18件	7件	0件	25件
平成29年度 (2月末現在)	22件	12件	0件	34件

重篤事故発生!

詳しくは本誌12頁の事務局だよりをご覧ください。

平成29年度 社会奉仕活動

	地区名	実施日	実施場所	奉仕内容	人数
1	折戸	5.1	清水区折戸ふれあい広場	花壇の草刈・除草作業、清掃作業	6
2	藁科羽鳥	6.4	葵区静岡市立服織児童会館	草刈・除草、清掃作業	18
3	西奈・西奈南	8.27	葵区梶原山山頂公園	低木整枝、草刈・除草、清掃作業	16
4	袖師	10.9	清水区袖師スポーツ公園	草刈・除草作業	10
5	辻・江尻・入江	12.17	清水区JR清水駅みなと口周辺	清掃作業	19
6	飯田東	12.23	清水区高橋公園	公園内清掃・トイレ清掃作業	9
7	三保	12.28	清水区御穂神社	植木剪定、美化・除草作業	14
8	安東	3.11	葵区城北公園	公園内清掃	16
9	末広	3.24	葵区浅間神社	除草、清掃	25
10	手芸班(東事務所)	6月～10月	清水区清水高部東小学校	クラブ活動(手芸)講師全7回	延70

安全就業委員会及び技能軽作業専門委員会合同視察研修

埼玉県新座市SC

平成30年2月16日、公益社団法人新座市シルバー人材センターへ視察研修を実施しました。

新座市SCの実績は、公共の割合が高いのが特徴です。一方で、一般家庭や民間の実績はここ数年低下しています。委員会は8つあり、理事が各委員会の委員長になります。また、就業先ごとに班を編成（100公民館管理班「内職班」など）、班長が連絡調整係、副班長が安全管理を担当します。

(1) 安全就業への取組み

無事故推進カレンダーを会員に配布し、毎日の安全確認を実施。無事故の日はカレンダーにシールを貼り、安全意識を高めています。毎月配分金明細書を郵送する際には、講習会の案内と安全ニュースを同封。安全ニュースは、事故事例を写真付きで掲載。内容は全て関係委員会の会員が作成。また、ホームページを頻繁に更新し、最新情報の周知に努めています。



新座市SC外観

植木班と除草班は就業日に一度事務所に集合。センターの車に乗り換え就業先へ向かいます。センターで所有する車には全てドライブレコーダーを搭載、万が一の事故等に活用しています。運転する会員は、年1回自動車学校で運転試験を受けてもらいます。なお、植木作業のみ75歳定年制としています。

健康管理講習会は年2回実施。外部講師を招き、肩こり解消、歩き方、脳トレ等を実施。また、自転車講習会も年1回実施。これら講習会は、受講者の募集か

ら講師の手配まで全て関係委員会の所属会員が行います。

各就業先の副班長が安全管理を担当しますが、1人で作業する会員はグループに属さないため、安全意識をどう徹底させていくかが課題です。

(2) 会員数拡大への取組み

入会説明会を月2回実施（平日1回、日曜1回）。その他、年3回公民館で出張説明会を実施。雇用延長の影響もあり、近年は会員数が落ち込んでいます。

同時に、シルバーの魅力作りが課題です。平成30年1月末の平均年齢は73.4歳。年を追うごとに上がっています。高齢会員への就業対応も課題です。

(3) 地区班の組織と活動

各地区で年3回の地区会議と年1回のボランティア活動を実施するようお願いしています。内容について事務局は関与せず、会員に任せています。

(4) 奉仕活動の取組み

各地区班長を中心に児童の見守りなど実施。年間延べ800人以上の会員が参加しています。

その他、全国に先駆けて成年後継人事業を行っています。新



活発な質疑応答

座市SCが法人後継人制度の認定を受け、会員は約2か月間の研修を行い、家庭裁判所の審査で認められると市民後継人になる事が出来ます。

新座市SCは「基本は会員が動く」ということでした。広報誌『ゆうゆう通信』も安全ニュースや講習会開催など、委員会の委員一人ひとりが自ら役割を決め、全ての段取りをします。「センターは必要資料の提供とよし悪しの判断をする程度」で職員と会員の作業分担を明確にしていました。視察に参加した委員から多くの質問があり、予定時間を過ぎるほど非常に有意義な研修となりました。

会員の広場

みなとまち清水 美化ウォーキングに参加

入江地区 坂井 将邦

11月20日(月)JR清水駅東口(みなと口)集合。参加者24名。静岡市シルバー人材センターのぼり旗の先導の下、まず駅前公園・イベント広場を9時30分より清掃作業を開始。清掃コースはマリナート、テルサ前、旧電車道を経由、ドリームプラザ、マリナーパークまで清掃。ゴミは落ち葉が多く、ビン・缶・ペットボトルなどは、植木の中に放棄されており、回収するのが大変でしたが、

参加者の努力で歩行路周辺がきれいになりました。この日は、大型客船・ダイヤモンドプリンセス号が清水に寄港。客



ダイヤモンド・プリンセス号を背景に

船の観光客が清水の街中を散策しており、清掃作業している私達を見て、笑顔で歩いているのが印象に残りました。

また、フェリー乗り場の待合室では客船の観光客に着物の着付け・茶道・書道教室が行われていました。

清掃作業終了後、清水マリナーミナル・イベント会場で小休止。ダイヤモンドプリンセス号を目の出棧橋より見学。ドリームプラザ、さつき通り、駅前ロータリーまでウォーキングし、12時15分解散。健康増進、会員同士の親睦が出来て良かったと感じています。

互助会だより

「小さな旅」同好会

私達会員の親睦と健康増進を目指し、3年前に発足しました。移動手段として自分の足と、主に電車、バス等を利用していきます。少人数での行動は小回りができるため、多人数の団体旅行では味わえない楽しさがあります。

今までに実施した旅行は、県内外で合わせて10数か所になります。横浜港、山下公園、氷川丸、港の見える丘公園、中華街での昼食等々。県内では、掛川城、資生堂見学、伊豆河津桜



富士宮浅間大社初詣

浜松気賀のNHK直虎大河ドラマ館、龍潭寺、花の舞酒造見学などへ行っています。30年初詣に富士宮浅間大社、隣接する富士山世界遺産センターの見学を実施しています。お気軽にお問い合わせください。

会費年額 500円

申込先 安東地区 青柳 清治

写真同好会の会員募集中

春にはサクラ、夏には富士山、秋は紅葉、かわいいお孫さん、お祭り、動物など、楽しい思い出をいっぱい残してみたいかですか。

静岡には多くの被写体があります。カメラ好きの方、ぜひお集まりください。みなさんのご参加をお待ちしております。

申込先

羹科羽鳥地区 宮城 誠次

〈表紙写真エピソード〉

4月の澄み切った空。舞台は整っていたが、雲がない。湧いてくると確信のもと、待っていると期待通りの構図となり、シャッターを切る。

川村春美

互助会・一泊旅行

信州の紅葉を巡る

好きなお酒と温泉!!そんな動機で参加しました。

土日曜と水木曜の2コースがありました。混まないと思われる平日コースを選びました。

天気予報(テレビ)では、岐阜方面、午前0%晴、午後10%曇り、最高気温17度とまずまずの予報でした。

清水駅東口ロータリー7時55分集合、8時10分出発、富士山のお見送り。久しぶりの旅行にウキウキ気分です。また、静岡市の観光バス駐車場からも乗車して総勢28名ですがバスの中は余裕があります。参加者が年々減っているとの事でした。

東名静岡インターチェンジ↓浜名湖サーブエリア↓三ヶ日ジャンクションから新東名へ、トンネルが多いがLED照明で明るく運転しやすいとか。

東海環状自動車道に入ると、黄・赤色に山が染まって山深くなってきました。ガイドさんの

美声が一段とバス旅行の良さを引き立てます。

中央自動車道から恵那へ、昼食は「山菜園」で、鶏ちゃん焼定食、恵那峡展望台散策後、石畳の馬籠宿へ入り口の酒屋でワインカップ「木曾路」を買う。宿場の中ほどまで歩くと「夜明け前」の舞台となった島崎藤村の生誕地がある。このあたりで小雨となる。



馬籠宿を散策

今日最後のドライブイン「酒蔵」に寄った後、天竜水神温泉のお宿「よしの亭」に到着。18時の夕食には1時間ほどあるの、早速皆さんと湯船に、お肌つるつる、さっぱりしたところ



飯田市の元善光寺

で夕食、宴会と盛り上がり、中締め。各部屋で続きで盛り上がり。歩き疲れて早寝の方など、各々シルバークのペースで2日目に備えていました。

2日目は、8時30分に「よしの亭」を出発し飯田市の元善光寺へ。この本尊は長野の善光寺へ移動との事。次は「三和農園」リングの食べ放題へ、2個食べたからお腹がいっぱいになりました。道路の並木には、リングがたわわに並んでいました。

実演も見られる水引工芸館「せきしま」へ、水引で作られたお花、建物、家紋など工芸品でいっぱい。きめの細かさ、色



りんご狩り「どれにしようか」

付けの確かさ、少しの時間では見切れませんでした。木曾の文化に触れた思いでした。

お昼は、そば処「伊那路」で信州そばを満喫。

最後は、小原四季桜祭りに。紅葉と桜の競演が素晴らしい。桜は3分〜5分咲きでした。また、祭りには、地元のシルバークの会員が加わり、祭りを盛り上げていました。静岡のシルバークも祭りに協力した方がより良いシルバークになるのではないかと感じました。

2日間晴天で無事帰ることができ、皆さん満足顔に見えました。

編集委員 富士俊明

職場訪問

株式会社 長倉産業

静岡市にも多くの自動車部品

関連企業がありますが、その中で清水区蜂ヶ谷の東名高速道路北側にある「長倉産業」を訪ねました。長倉幸男会長が迎えられました。ここは、従業員70名で90%は女性。その中に、男性7名、女性9名、計16名の会員さんたちが働いています。

長倉産業では、国内製造所や海外の製造工場（中国、ベトナム、フィリピン）で製造された自動車電装部品のワイヤハーネスやコネクタを組み合わせて製品に、また部品と部品をハンダ



付け、検品、仕分け、発送などを行っています。

出来たこれらの製品の80%は国内のトヨタの自動車工場に運ばれます。残りの20%は海外の工場との事でした。

ワイヤハーネスとは、自動車内の電源供給や信号通信に用いられ、複数の電線を束にしたもので、様々な種類があります。自動車1台でその重さは20〜50kgにもなるそうです。エンジンをかけたり、ライトを点けたり

など、様々な電子制御に必要なもので、人間に例えれば血管や神経に相当する重要な部品です。最近注目されてきた電気自動車になると、これらの部品が大幅に減って、軽量化されるとの事でした。取材者も初めて聞き大変興味深い話でした。

長倉会長に、シルバー会員さんについて伺いました。「皆さんとにかく真面目な人ばかり、そして休まないため当てになり、生産ラインに穴が開かないのので助かっています。」

最近はどこも人手不足で、特に若い人が集まらないため、「シルバーさんには1年でも長

く働いてもらいたい。70歳を過ぎても働いて欲しい。」と好評でした。

16名の会員さんは、交代制で①8時〜12時、②13時〜17時の2シフト、1日4時間就業で土日はお休み。訪問した時は、8時〜12時までシフトの男性3名、女性4名の方が働いていました。ハンダ付け、部品を詰める、製品の入ったコンテナを運ぶなど様々な仕事をしていました。技術の必要な仕事はハンダ付け作業をしていた山田さんは「新しく入った時は覚えるのが大変でしたが、今は、次の仕事のことを考え段取り良く仕事ができる。周りの良い人たちに巡り合えて良かった。気持ち良く仕事をしています」との事でした。



12時ちょうどで仕事が終わるとなり、そこで他の会員さんからも話をお聞きしました。会社からは比較的近くに住んでいる方が多く、自転車です通っています。土日が休みで、月曜日から金曜日の午前か午後の4時間働くので、生活のリズムが出来て楽しい。夏のお盆休み・冬の年末年始休みは、親会社と同じで10日間位。余暇には、家庭菜園で野菜を作ったり、海釣りを楽しんだり、もちろんお酒も楽しみの一つ。

皆さん明るい方ばかりで取材して、こちらが元気をもらって帰ってきました。ありがとうございました。

編集委員 朝比奈俊保

史跡めぐり
**徳川家康公の生涯と
 駿府城跡**
 完

三河（愛知県の東部地方）から戦国時代に3人の天下人が生まれている。織田信長（1534～1582）、豊臣秀吉（1567～1598）、徳川家康（1542～1616）。秀吉は信長に従い、家康は信長、秀吉に従って最後に天下人となっている。江戸時代に詠まれた有名な狂歌に「織田がつき 羽柴がこねし 天下餅 座して食らふは徳の川」これは3人の武将の関係を誇張し面白く、簡明に表現している。

また「鳴かぬならば 殺してしまへ 時鳥」の信長、「鳴かずとも 鳴かして見せふ 杜鵑」の秀吉、「鳴かぬなら 鳴くまで待とう 郭公」と家康。この川柳も三人三様の性格の違うところを大袈裟に表現していて面白い。

種々、資料によれば家康も幼年期から辛抱と苦勞の絶え間が無かったが、最終的に天下を取っている。鳴くまで待つほどおつ

とりしない。むしろ状況判断、記憶力の良さがあげられている。半面、臆病、執念深きなども合わせ持っていたとも言われている。

駿府城あれこれ

二ノ丸水路

駿府城公園内南側、紅葉山庭園西側のあまり目立たない場所に位置している。

明治維新の廃城と歩兵34連隊設置に伴い、本丸堀と同時にこの二ノ丸水路も土砂で埋められ平地とされ、兵舎や運動場になっていた。終戦後、二ノ丸堀より内側は、市の管理となつて都市公園として、市民の憩いの場となつていた。



二ノ丸水路

昭和40年代頃より、駿府城の歴史的価値が見直され、埋められていた二ノ丸水路が掘り起こ

され、当時の景観が甦り見ることがができる。この水路は天守閣を守る本丸堀と二ノ丸堀に水を流し、水位を調整する目的で築かれたものである。この水は三ノ丸堀（外堀）にも流れ、巴川に通じている。

水路幅は約4・5m、深さ4m、4回折れ曲がり、長さは95mある。本丸堀との接続部分は約2mの段差を設けて、本丸堀の水位を保つように工夫されている。水路内側両面は石垣がしっかりと組み立てられ、底の部分にも石が敷かれ、底の土砂が流されないよう考えられ、当時としては、非常に珍しい水路構造となっている。

石垣の下部は家康築城当初と考えられ、大御所の威風を示す貴重な遺構とされている。

東御門鯨（しやちほこ）

昭和44年、二の丸堀整備工事の際、東御門の北側、石垣下の土砂の中から、ほぼ完全な姿で掘り出された。この鯨は、慶長12年（1607）二の丸東御門

の大棟にのついていた雄鯨と推定されている。瓦製の鯨が多いなかで、当時としては貴重な青銅



二ノ丸堀で発見された鯨

製であり、現在でも表面には金箔の痕跡をとどめ、駿府城創建当時の豪華な面影を残した、かけがえのないものである。市指定文化財として、東御門展示室に展示されている。鯨の大きさは、高さ1・4m、重さ480kg。発見された鯨ののつた東御門は、創建以来いまのところ焼失した記録は無い。安政元年（1854）大地震で東御門の完全倒壊が記録されているので、北側の鯨も御門の用材とともに、堀に落下し埋没し、見捨てられてしまったものと思われる。奇しくも、駿府城の鯨は113年目に発見され陽の目を見たことになる。

編集委員 青柳清治
 参考文献 「駿府城」静岡市「家康の謎」宝島社

事務局だより

人事異動

◆退 職(平成29年10月30日付)

西事務所 主査 松澤 直美

◆退 職(平成29年11月30日付)

西事務所

就業機会創出員 大木 敬史

伊東 輝雄

◆退 職(平成29年12月31日付)

本部事務局 主査 田中 浩史

◆退 職(平成30年1月31日付)

本部事務局 府川 佳弘

(常務理事は6月総会まで)

◆退 職(平成30年3月31日付)

東事務所蒲原支所

非常勤嘱託員 石川 雅俊

西事務所

就業機会創出員 窪田 進二

竹中 寛

野口 俊久

◆昇 任(平成30年2月1日付)

西事務所 副所長 川口 竜矢

東事務所 副所長 鍋田 修

◆昇 任(平成30年3月1日付)

本部事務局兼東事務所長

西山 祐一

◆採用(平成30年4月1日付)

西事務所 就業機会創出員 石橋 淳

志田 徳保

田中 浩二

就業中の事故発生について

当センターにおいて、本年

4月に会員が植木剪定作業中

に樹木から転落し、搬送先の

病院で亡くなる事故が発生し

ました。安全に作業が行える

よう、今一度、確認及び対策

を徹底していただき、事故防

止に努めてください。加齢に

よる体力の低下を認識するこ

とが、事故防止に繋がります。

万が一、就業中や就業途上

の事故が発生した際には、必

ずセンターへご連絡ください。

就業相談日へどうぞ

センターでは、毎月1回『就

業相談日』を設けています。

毎月第4水曜日の午前10時から

午後3時まで(12時から13時を除く)

会場は東西各事務所です。会員の皆様はお気軽にご利用ください。

なお、現在就業中の方で相談のある方は、随時承ります。

お電話でも結構ですが、来所の際には、必ず担当者の在席をご確認いただいた上で、お越しください。よろしく願いいたします。

蒲原支所の開所日変更

平成30年4月より、蒲原支所の開所日が変わります。ご不便をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。

毎週火〜木曜日

午前9時30分〜午後4時まで

編集委員を募集しています

現在、『シルバーしずおか』の編集委員を募集しています。

紙面発行に携わっていた方はもちろん、文章を書くのが好きな方も、写真を撮るのが好きな方もぜひ一緒に『シルバーしずおか』を作りませんか? 広報誌は、事務局と会員の皆さまを繋ぐ大事な紙面です。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

本部事務局 ☎(351)1150

年会費の納入をお願いします

〈正会員会費〉 2,000円

〈互助会会費〉 500円

3月に就業のあった方

4月17日(火)支払いの配分金より30年度会費を差し引かせていただきますのでご了承ください。

3月に就業の無かった方

4月上旬に圧着ハガキで会費の振込用紙を発送しました。

払込はお近くのコンビニエンスストアをご利用ください。

★納入期限は4月末日です

継続の変更やご不明な点等ございましたら、至急センターへご連絡ください。

配分金支払日のお知らせ

『就業報告書』は作業終了後速やかに提出してください。

振込先の変更希望のある方はセンターへご連絡ください。

次の総会

平成30年6月15日(金)午後1時30分から

グランシップ中ホール・大地

総会は会員の重要なことを決める大切な大会です。多くの会員の出席をお願いします。

就業月	配分金支払日
4月分	5月18日(金)
5月分	6月15日(金)
6月分	7月17日(火)
7月分	8月15日(水)
8月分	9月18日(火)
9月分	10月16日(火)